

社会福祉法人大東福祉会 平成26年度 事業報告

決算報告

★ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	390,997,038	事業未払金	24,873,917
事業未収金	182,201,740	その他の流動負債	127,876,456
その他の流動資産	2,469,488	固定負債	
固定資産		設備資金借入金	475,430,000
基本財産 建物	1,927,342,442	退職給与引当金	26,006,719
土地	225,762,104	その他の固定負債	
その他の固定資産	845,219,161	負債の部合計	
		654,187,092	
		純資産の部	
		基本金	36,770,181
		国庫補助金等特別積立金	1,801,196,223
		その他の積立金	684,500,000
		次期繰越活動収支差額	397,338,477
		(うち当期活動収支差額)	△636,215,236
		純資産の部合計	
		2,919,804,881	
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	
3,573,991,973		3,573,991,973	

★ 事業活動計算書

サービス活動増減の部		サービス活動外増減の部	
介護保険事業収益	1,064,517,499	サービス活動外収益計④	17,766,815
老人福祉事業収益	111,237,533	支払利息	10,304,047
保育事業収益	328,622,444	その他の事業活動外支出	3,316,920
障害福祉サービス等事業収益	14,174,721	サービス活動外費用計⑤	13,620,967
経常経費寄付金収益	1,174,907	サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	4,145,848
その他の事業活動収入	470,000	経常増減差額⑦(③+⑥)	△57,227,970
サービス活動収益計①	1,520,197,104	特別増減の部	
人件費	1,171,380,893	特別収益計⑧	70,408,863
事務費及び事業費	373,146,189	特別費用計⑨	649,396,129
利用者負担軽減額	5,351,780	特別増減差額⑩(⑧-⑨)	△578,987,266
減価償却費	101,238,119	当期活動増減差額⑪(⑦+⑩)	△636,215,236
国庫補助金等特別積立金取崩額	△69,556,259	繰越活動収支差額の部	
その他の費用	10,200	前期繰越活動収支差額⑫	1,054,553,713
サービス活動費用計②	1,581,570,922	当期末繰越活動増減差額⑬	418,338,477
サービス活動増減差額③(①-②)	△61,373,818	その他の積立金取崩額⑭	0
		その他の積立金積立額⑮	21,000,000
		次期繰越活動収支差額⑯(⑬+⑭-⑮)	397,338,477

大東福祉会の経営状況について

平成26年度の大東福祉会の経営について、介護保険制度の改正等ないものの、小笠老人ホーム受託収入があるため、収入は前年度より1億2千万円程度多く見込んだ。しかし、特別養護老人ホーム利用率が伸び悩み予定に達しなかった。特に、デイサービス等在宅系サービスについての減収が顕著であった。

また、支出面では、人件費が事業活動支出の7割を超えているため、高齢化しつつある職員処遇を圧迫しないことに配慮しつつ、効率的な運営を行うなど、安定した経営を行えるよう体制を整備していく必要がある。

平成26年度法人本部の重点目標の成果は、東日本大震災を教訓とした災害時の体制強化対策であり、各施設においても毎月避難訓練を実施し、危機管理体制の充実を図った。次に、職務に見合った給与体系の基盤づくり及び時代のニーズにあった施設整備については、関係機関と検討を重ね、具現化に向けて前進した。また、小笠老人ホームの指定管理は、1年が経過し順調に推移した。新会計基準導入と事務局体制の充実については、新会計は今回から実施し、事務局体制については法人事務会議において検討を重ねている。

最後に、長期的安定経営に向けた基盤づくりとして、業務の効率化、コスト削減による諸経費の見直し、静岡県社会福祉協議会及び掛川市からの施設整備償還金助成、社会福祉事業振興のための助成金及び日本財団からの助成金等、支出の抑制の検討と収入の有効活用を行った。

事業毎の総括

保育園事業では、2園は、100パーセントを超える入所率を確保でき、3園共に設備整備積み立てをすることができた。共働きの増加や出産後仕事に復帰する母親の増加により保育のニーズは高まる一方であり、様々な家庭環境や保育環境の中で、子どもたちが健やかに育つよう、子どもたちひとり一人と寄り添い「安心・安全」の保育を提供してきた。また、学園化構想により地域の教育力を取り込みながら家庭と地域に根ざした教育を推進する体制も整ってきた。今後は、職員の働きやすい環境作りや待機児童解消の為に保育士の人材確保を目指していきたい。

老人福祉事業では、平成26年度に新たに「小笠老人ホーム」の指定管理を市から受け、福祉サービスの向上に努めた。限られた人員のなかで3施設の効率的な運営を図るとともに利用者への良好なサービスの提供を行った。高齢人口が増加する中、他の法人施設との差別化を図るため、サービス提供時間の変更等柔軟な対応を行い、少しずつではあるが職員の意識改革が現れていると思われる。利用者の状況は、入所系サービスにおいては利用率96%以上であったが、デイサービス等在宅系サービスについては、80%を下回る事業があった。これらの原因は、近隣に類似施設が建設され、過当競争の時代を迎えたと思われる。

今後は、優秀な職員等の人材確保とサービスの質の向上を図り、利用率の向上を目指すとともに利用者にも喜ばれる施設として地域福祉の推進に努めていく。

苦情解決結果について

千浜保育園

■受付日 平成26年6月23日

申出人 保護者

内 容 園児に伝染性膿痂疹（とびひ）の子がいるが、傷口を覆うなどの指導を園からしてほしい。

結 果 伝染性膿痂疹（とびひ）は出席停止の必要がない皮膚病だが、接触感染で皮膚に傷があると伝染しやすいため、必ず病院を受診し、傷口をガーゼなどで覆って登園するよう保護者にお願いする。

千浜保育園

■受付日 平成26年12月5日

申出人 保護者

内 容 保育園で度々かじられてくるが、どういう状況か？
（毎回同じ子がかじるのか？うちの子も相手に怪我をさせているのか？）
相手の親に伝えてほしい。

結 果 かじられてしまったことを保護者に謝罪するとともに、かじった園児の保護者にも状況を伝え謝罪してもらう。また、職員間で共通理解し、今後十分配慮して保育していくようにする。

大東苑

■受付日 平成26年8月20日

申出人 匿名

内 容 細い道の交差点で徐行運転せずに走っていた大東苑の車を見かけた。危険なところを徐行しないのは困るので気を付けてほしい。

結 果 危険な運転をしていたことを謝罪し、職員全員に安全運転を徹底すると回答した。職員には、朝礼やミーティング等で安全運転に心掛けるように指導した。

■受付日 平成26年9月8日

申出人 匿名

内 容 施設を訪れた際、衛生面に不安を感じることがあった。施設管理をしっかりしていないのではないかと。

結 果 施設内及び外構周りの清掃を行うとともに面会時に失礼な言動等がなかったか職員の振り返りを行った。